

# 令和3年度 授業改善推進プラン

武蔵村山市立第八小学校

<p>学校全体で 取り組む 共通事項</p>	<p>○八小授業スタンダードの徹底。 ○習熟タイムで、基礎計算、TBD、漢字ステップアップシートを実施し、漢字・計算技能の習熟・反復練習をする時間を計画的に確保する。 ○家庭啓発を行いながら、家庭学習の充実を図ることで学習内容を定着させる。</p>		
<p>教科</p>	<p>① 児童の実態・課題</p>	<p>② 授業改善の取組</p>	<p>③ 取組結果</p>
<p>国 語</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の定着ができていない。</li> <li>自分の考えや思いを言葉で表現することに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習で新出漢字を毎日定着させるとともに、習熟タイムで前学年の復習を取り入れる。</li> <li>日記指導や、読書感想文の書き方の指導を通し、発達段階に応じた文章の書き方を身に付けさせ、体験や意見を作文する機会を多くもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>習熟タイムで前年度の漢字の復習を徹底したことにより、数%定着率が上がった。</li> <li>書き方の指導を工夫し、作文を書く機会を増やしたことで表現力の向上が見られた。</li> </ul>
<p>算 数</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前学年までの計算技能や知識が身に付いていないなど、基礎基本の定着が課題である。</li> <li>友達の考えを聞いて、自分の考えに活かそうとする姿勢が育っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校として、習熟タイムで東京ベーシックドリルを活用する計画を立て、習熟度向上を図る。さらに、なるほど塾で個のつまずきに応じた指導を行う。</li> <li>学校全体で、「児童が関連付ける」授業を目指し、教員同士が互いに指導を見合いながら研鑽していくことで、算数の授業で考えるのが楽しいと思える児童を育成していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京ベーシック・ドリル診断テストの点数に向上が見られた。</li> <li>算数科において、児童同士で互いの発言や考えに対して活発に意見を言う場面が多く見られるようになるとともに、算数の授業で考えるのが楽しいと思える児童が増加したことがアンケート結果から分かった。</li> </ul>
<p>体 育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力テストの結果では、運動能力は、全学年全国平均を下回る傾向にあり、長時間粘り強く続ける運動や瞬発力を鍛える必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長縄月間、持久走月間、短縄月間を開催する中で、目標をもたせたり、学習カードを活用したりして達成感を味わえるよう取り組みを進める。</li> <li>晴れた日には、全児童が外に出て、体を動かすことを推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な取組の効果から運動能力が著しく後退はしていない。今後は、現在の取組を継続しつつ、児童の実態を踏まえた、より効果的な運動等を行う必要がある。</li> </ul>

